






# MITSUBISHI

## 三菱電機 給湯機用

<b>リモコンセット</b> ● インターホンタイプ 形名 RMC-D5SE 浴室リモコン 台所リモコン 	● ベーシックタイプ 形名 RMC-5SE 浴室リモコン 台所リモコン 	<b>サブリモコン</b> 形名 RMC-KZ5 	<b>給湯専用リモコン</b> 形名 RMC-N5 	<b>大容量連結タイプ専用リモコン</b> 形名 RMC-GEN5 
--	--	--	---	--

リモコンは、当社電気給湯機専用です。リモコンを使用しないと給湯機のわき上げが行なえません。

## 工事説明書

※適用機種は、当社カタログ・据付工事説明書などに記載してあります。

### 安全のために必ずお守りください



**注意** 誤った取扱いをしたときに、軽傷または家屋・家財などの損害に結びつきます。



指示に従う

必ず電源ブレーカーを「切」にしてから行う  
感電の原因になります。



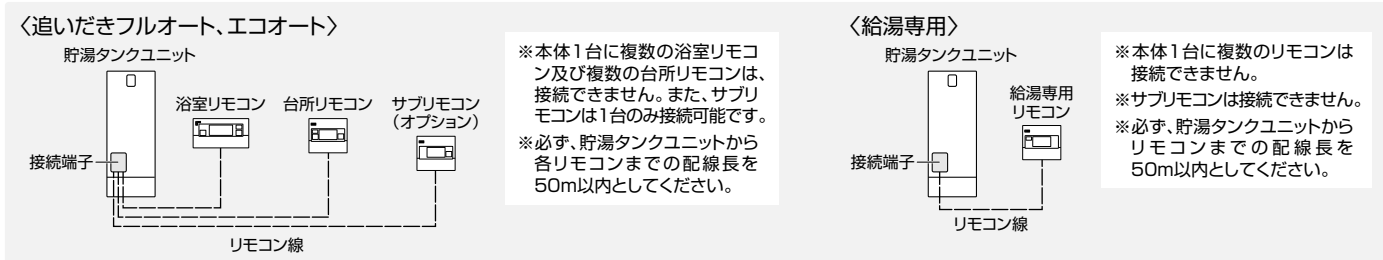
指示に従う

板金の端面に注意する  
けがの原因になります。

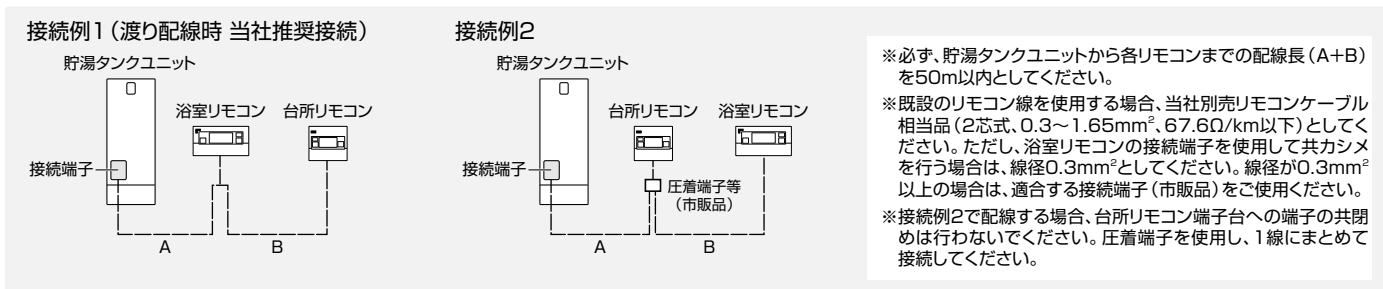
## 1. 接続概要図

●貯湯タンクユニットへの接続は、貯湯タンクユニットに付属の据付工事説明書をご覧ください。

### リモコン接続概要図



### 渡り配線を行う場合の接続概要図 (必ず下記に従ってください。)

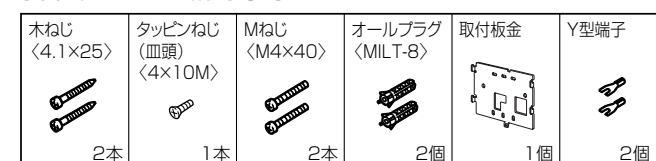


## 2. 付属品の確認

### ①浴室リモコン



### ②台所リモコン、給湯専用リモコン、サブリモコン



### サブリモコンのみ



※サブリモコン (RMC-KZ5) は上記部品が加わります。

## 3. 工事に必要な工具、部材

●工事前に準備ください。

工具	リモコン		推奨品、注意事項等
	浴室	左記以外 (※1)	
Y型端子用圧着工具	—	○	日本圧着端子製造株式会社製 YHT-2210 (JIS 9711規格品)
接続端子用圧着工具	○	○	日本圧着端子製造株式会社製 YNT-2216
ドライバー (+ 2番)	○	○	電気ドライバー及びインパクトドライバーなどは使用禁止です。
ドライバー (-)	○	—	

部材	リモコン		当社別売部品形名
	浴室	左記以外 (※1)	
リモコン線 ※2	○	○	LM-620またはLM-650
シリコン系コーキング材	○	—	市販品
壁貫通パイプ	△	—	GT-5SEKP
補強用木片	△	—	市販品
圧着端子	△	△	市販品

※1. 台所リモコン、給湯専用リモコン、サブリモコン

※2. リモコン線は、当社別売部品 (形名: LM-620またはLM-650) を設置条件に合わせて切断してご使用ください。

## 4. 取付場所の選定

### 〈共通事項〉

- 必ず平らな壁面に取り付けてください。(凹凸があるとリモコンが変形して誤動作することがあります。)
- リモコン線の長さには制限があります。接続概要図 (1項) を参照し、設置場所を選定してください。

### 〈台所リモコン、給湯専用リモコン、サブリモコン〉

- 必ず屋内に取り付けてください。台所リモコン、給湯専用リモコン、サブリモコンは防水タイプではありません。
- 取付位置はスイッチ操作が容易にでき、表示が良く見えるところ (目の位置より少し下側) を選んでください。
- 無線タイプのドアホン親機に隣接し設置すると、インターホン使用時にノイズ音を発することがありますので、無線タイプのドアホン親機より50cm以上離して設置いただくことをおすすめします。
- 下記の場所には取り付けしないでください。
  - ガステーブルの近くなど高温 (45℃以上) になるところ
  - 湿気の多いところ
  - 直射日光のあたるところ
  - 湯気や水しぶきや油のかかる場所 (防水タイプではありません。)
  - 幼児の手が届くところ

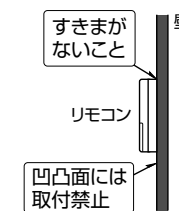
### 〈浴室リモコン〉

- 取付位置は浴室内のスイッチ操作が容易にでき、表示が良く見えるところ (入浴中の目の位置) を選んでください。
- 浴室リモコンは防水タイプですが、できるだけ湯や水がかかりにくい場所に取り付けてください。(設置場所の壁裏側は蒸気がかかるような場所、湿気が多い場所をさけてください。)

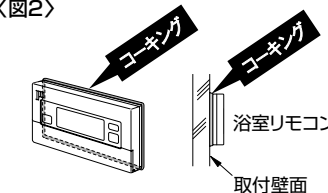
## 5. 施工上のお願い

- リモコン本体を分解しないでください。
- リモコンを直接砂の上や鉄くずのある床の上におかないでください。スピーカー部 (左上) に鉄粉等が付着し、音が出なくなります。
- サブリモコンの単一使用はできません。
- リモコンと壁の間にすきまがないように取り付けてください。〈図1〉
- リモコン線が短絡しないように施工してください。
- リモコン線は、周囲の熱による劣化を防ぐため、高温部に触れたり、熱の影響を受けたりしないところに配線してください。
- リモコン線をコンクリートなどに埋め込む場合には、電線管 (PF管など) に収め、リモコン線が傷つかないようにしてください。
- リモコン線を配線する場合、取付板金の金属端面に注意してください。
- Y型端子及び接続端子をカシメるときは、必ず当社指定の圧着工具を使用してください。また、圧着 (接続) 時は、引張強度35.6N以上を圧着後に確認してください。
- リモコンをねじで固定する際、電気ドライバー、インパクトドライバーなどは使用しないでください。破損のおそれがあります。
- 台所取付板金をねじで固定する際、強く締め付けるとリモコンと壁に隙間ができることがあります。取付状況に応じてねじの締付量を調整してください。
- 壁に穴を開けて設置する場合、穴端部の凹凸をならし、石膏ボードくず等をきれいに取り除いてからリモコンを設置してください。
- 浴室リモコンと浴室壁面のすきまは必ず全周にわたり、シリコン系コーキング剤で十分にシールしてください。水や蒸気が浸入し、故障するおそれがあります。〈図2〉
- コンクリート壁面の溝やタイル目地など、壁面にパッキンシールに適さない凹凸がある場合は斜線部をシリコン系コーキング剤で平らにしてください。〈図3〉

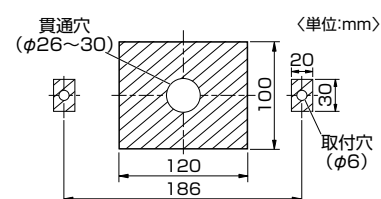
〈図1〉



〈図2〉

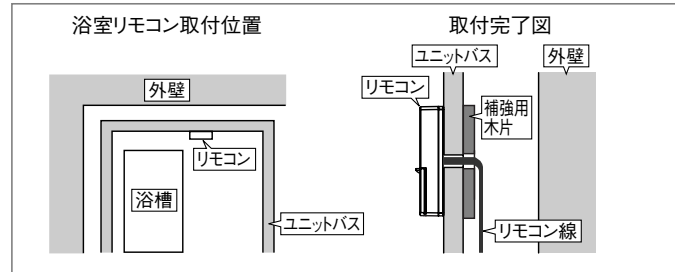


〈図3〉

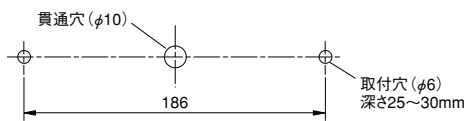


## 6.浴室リモコン取付工事

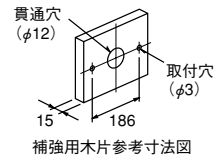
### ユニットバスに取り付ける場合(壁内配線)



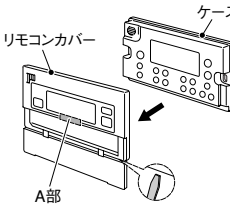
- 1 取付準備**
- 壁面の凹凸をなくす  
※施工上のお願(5項)を参照してください。
  - リモコン線用貫通穴(φ10mm)、リモコン取付穴(φ6mm、2カ所)をあけ、室内側からリモコン線を通しておく



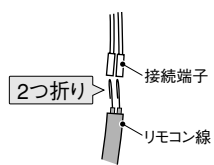
※壁パネルに取り付ける場合は、裏側に補強用の木片(現地調達品)を取り付けてください。木片にはリモコン線用貫通穴(φ12mm)とリモコン取付穴(φ3mm、2カ所)をあけ、接着剤などで壁裏面に付きます。



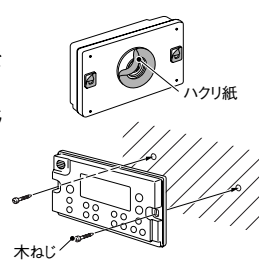
- 2 マイナスドライバーなどでケースのツメを外し、リモコンカバーを取り外す**
- ※外れにくい場合は、リモコンカバー中央部(A部)を軽く引っ張ってから外してください。
- ※保護フィルム(再使用しますので捨てないでください。)を外してから行ってください。



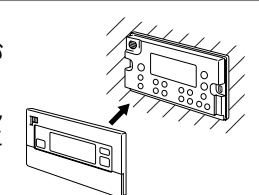
- 3 リモコン線の芯線を2つ折りにして、接続端子に圧着する**
- ※リモコン線の圧着(接続)時は、引張強度35.6N以上を圧着後に確認してください。



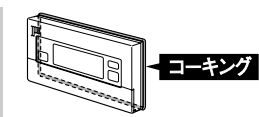
- 4 リモコンの固定**
- パッキンのハクリ紙(3カ所)をはがし、リモコンを仮取付する
  - リモコンケースを付属の木ねじ2本で壁に固定する



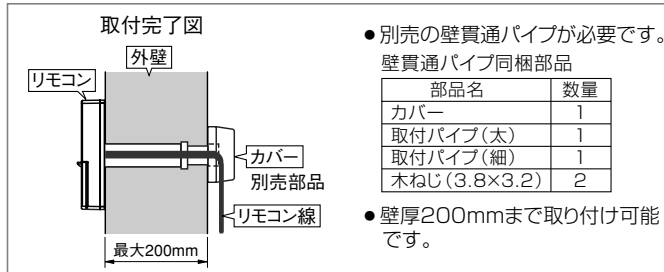
- 5 リモコンカバーを取り付ける**  
(上部をかぶせた後、下部を押し込む順で行うと正しく取り付けます。)
- ※リモコンカバー取付後、手順2で外した保護フィルムを表示面にキズやほりかきつかないように貼ってください。



- 6 水がリモコンの裏に入らないようシリコン系コーキング剤を使って、浴室リモコン全周にコーキングを行う**

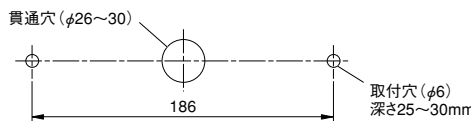


### コンクリート、タイルなどの壁に取り付ける場合(壁貫通)

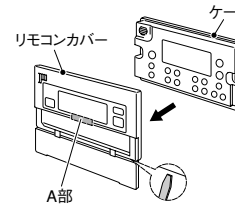


- 別売の壁貫通パイプが必要です。壁貫通パイプ同梱部品
- | 部品名          | 数量 |
|--------------|----|
| カバー          | 1  |
| 取付パイプ(太)     | 1  |
| 取付パイプ(細)     | 1  |
| 木ねじ(3.8×3.2) | 2  |
- 壁厚200mmまで取り付け可能です。

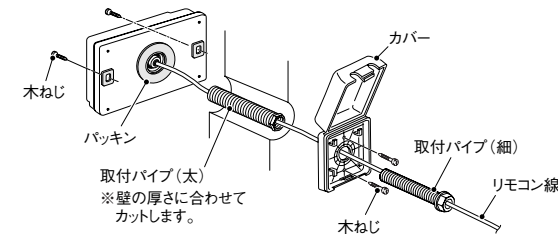
- 1 取付準備**
- 壁面の凹凸をなくす  
※施工上のお願(5項)を参照してください。
  - 貫通穴(φ26~30mm)、オールプラグ取付穴(φ6mm、深さ約30mm、2カ所)をあけ、オールプラグを打ち込む



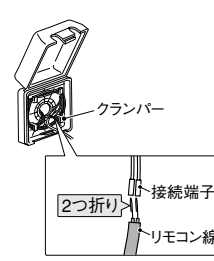
- 2 マイナスドライバーなどでケースのツメを外し、リモコンカバーを取り外す**
- ※外れにくい場合は、リモコンカバー中央部(A部)を軽く引っ張ってから外してください。
- ※保護フィルム(再使用しますので捨てないでください。)を外してから行ってください。



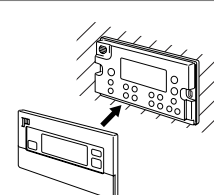
- 3 リモコン、カバーの固定**
- 取付パイプ(太)へリモコン線を通してリモコンにねじ込む
  - パッキンのハクリ紙をはがし、リモコンを仮取付する
  - リモコンを木ねじ2本で壁に固定する
  - カバー、取付パイプ(細)にリモコン線を通し、取付パイプ(細)をねじ込み、カバーを木ねじ2本で固定する



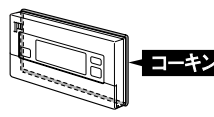
- 4 リモコン線の接続**
- リモコン線の芯線を2つ折りにして、接続端子に圧着する
  - 接続部がカバーの内側になるように、クランパーにリモコン線を巻き付けてカバーのふたをする
- ※リモコン線の圧着(接続)時は、引張強度35.6N以上を圧着後に確認してください。



- 5 リモコンカバーを取り付ける**  
(上部をかぶせた後、下部を押し込む順で行うと正しく取り付けます。)
- ※リモコンカバー取付後、手順2で外した保護フィルムを表示面にキズやほりかきつかないように貼ってください。



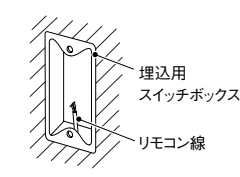
- 6 水がリモコンの裏に入らないようシリコン系コーキング剤を使って、浴室リモコン全周にコーキングを行う**



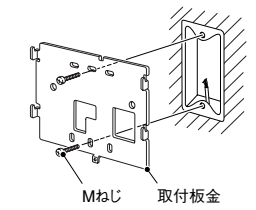
## 7.台所リモコン、給湯専用リモコン、サブリモコン取付工事

### リモコン線を壁中に通す場合(埋込配線)

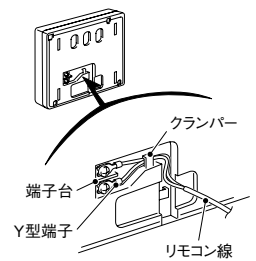
- 1 取付準備**
- リモコン取付位置に埋込用スイッチボックス(1個用)を取り付けておく
  - リモコン線を電線管を通し、貯湯タンクユニットまで配線しておく



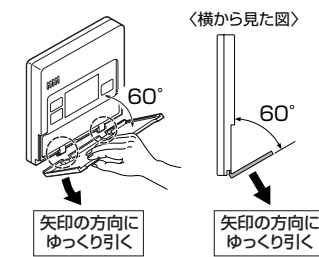
- 2 取付板金を付属のMねじ2本で埋込用スイッチボックスに固定する**
- ※「合」が上になるように取り付けてください。



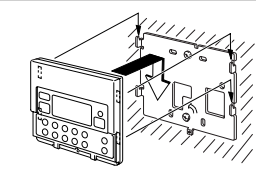
- 3 埋込用スイッチボックスから出ているリモコン線を付属のY型端子に圧着して、端子台に接続する**
- ※リモコン線の圧着(接続)時は、引張強度35.6N以上を圧着後に確認してください。
- ※リモコン線は必ずクランパーで固定してください。取付板金にかみ込み、断線のおそれがあります。



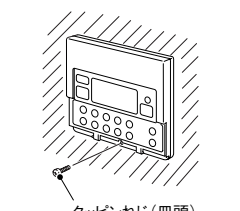
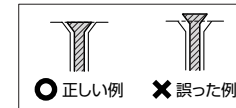
- 4 リモコンのふたを外す**
- ※ふたの中央部の根元を持ち、およそ60°にふたを開き、両方のツメに均等に力が加わるよう、ふたの面に対して矢印の方向にゆっくり引く



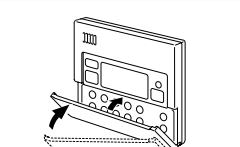
- 5 リモコンを取付板金に取り付ける**
- ※取付板金の金属端面に注意して配線してください。
- ※取付場所によっては、多少がたつきがあります。
- ※取付が正しくないとき次の手順6でねじを挿入できません。



- 6 タッピンねじ(皿頭)で固定する**
- ※ねじ頭がとび出さないようにしてください。

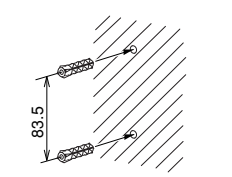


- 7 リモコンのふたをパチンとなるように取り付ける**
- ※取付後、ふたが開閉できることを確認してください。

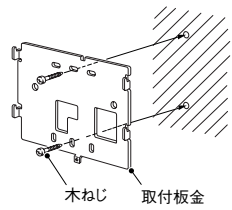


### 壁面に取り付ける場合(露出配線)

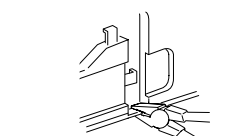
- 1 取付準備**
- 壁がコンクリートブロックなどの場合は、オールプラグ用穴(φ6mm、深さ約30mm、2カ所)をあけ、オールプラグを打ち込んでおく



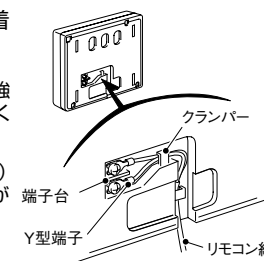
- 2 取付板金を付属の木ねじ2本で壁面に固定する**
- ※「合」が上になるように取り付けてください。



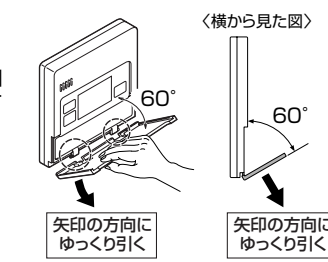
- 3 配線取出口をニッパーなどで切り欠く**



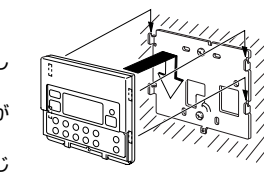
- 4 リモコン線を付属のY型端子に圧着して端子台に接続する**
- ※リモコン線の圧着(接続)時は、引張強度35.6N以上を圧着後に確認してください。
- ※リモコン線は必ずクランパー(2カ所)で固定してください。断線のおそれがあります。



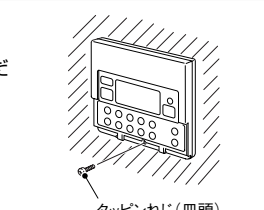
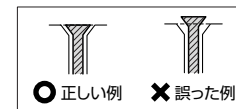
- 5 リモコンのふたを外す**
- ※ふたの中央部の根元を持ち、およそ60°にふたを開き、両方のツメに均等に力が加わるよう、ふたの面に対して矢印の方向にゆっくり引く



- 6 リモコンを取付板金に取り付ける**
- ※取付板金の金属端面に注意して配線してください。
- ※取付場所によっては、多少がたつきがあります。
- ※取付が正しくないとき次の手順7でねじを挿入できません。



- 7 タッピンねじ(皿頭)で固定する**
- ※ねじ頭がとび出さないようにしてください。



- 8 リモコンのふたをパチンとなるように取り付け、リモコン線を壁に固定して配線する**
- ※取付後、ふたが開閉できることを確認してください。

